北海道
音更町

道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」移転開業

資料2

令和4(2022)4月15日

所在地：音更町なつぞら２番地

【沿革】
- ○平成8（1996）年4月に道の駅登録（道内31番目）
- ○平成23（2011）年に道東自動車道が札幌まで全通（夕張ＩＣ～占冠ＩＣ間の開通）したことをきっかけに新たな魅力発信拠点整備を図るため、移転を検討
- ○令和4（2022）年4月15日に移転開業

【特徴】
- ○道東自動車道「音更帯広ＩＣ」から約700mに位置し、「十勝の玄関口」としての機能を期待
- ○「食の聖地」をコンセプトに９つの飲食店のほか農畜産物等販売所を設け、十勝・おとふけの食を集結
- ○隣接する「柳月スイートピア・ガーデン」との相乗効果を期待
- ○都市間バス、空港連絡バスの乗り入れによる交通結節点を形作る
- ○ＮＨＫ連続テレビ小説「なつぞら」のセットを再現した施設を整備

整備手法　：ＤＢＯ方式
事業費　：1,572百万円
（用地取得・造成・設計・建設）

敷地面積：80,378㎡
（公園・国整備エリア含む）
建物面積：1,960.64㎡
駐車場：284台
（公園、柳月を含めると約千台）

【施設内容】

▲地元生産者の直売、農畜産物を使った特産品の販売

▲地元食材を用いたメニューが並ぶなつぞらダイニング

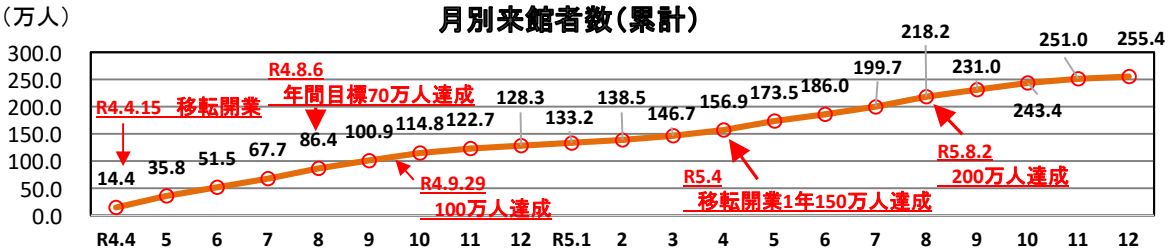
▲地域交流の場として各種イベントを開催（年間200件を超えるイベント）

▲子育て応援施設（キッズコーナー、ベビーコーナー）

▲都市間バス等の運行（交通結節点機能）

▲屋内防災倉庫

↑　旧道の駅施設
移転開業1年で目標の2倍強となる150万人を達成した。
【旧施設との比較】
建物面積：約5倍
店舗数：2店舗⇒10店舗



道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」～「食」と「賑わい」と「安心・安全」の拠点に～

令和4（2023）年度　年間イベント開催数　272件

正面玄関

なつぞら市場

なつぞらダイニング

キッズコーナー

24時間トイレ（女子）

小学校　音楽鑑賞会

ブルベ（トカプチ400）

みのり～おフェスタ

音更ら～麺村

バスの日イベント

食のフォーラム

リンゴ収穫体験

冬華火in道の駅おとふけ

サンタクロース行進

道の駅おとふけ防災訓練
（車両展開訓練）

道の駅おとふけ防災訓練
（車両展開訓練）

道の駅おとふけ防災訓練
（給食支援訓練）

道の駅おとふけ防災訓練
（給食支援訓練）

道の駅おとふけ防災訓練
（傷病者対応訓練）

北海道「道の駅」ランキング2022

（2023年11月8日　北海道開発局発表）

スタンプラリー完走者（2,863人）が選んだ「道の駅」ランキング８部門のうち、６部門でベスト10入りを果たした。（冬に訪れたい「道の駅」部門といちおしの”おいしいもの”部門でベスト10外となった。）　※全道127駅

①道路や地域に関する情報提供が充実していた「道の駅」部門～第５位
②ゆっくり休憩できたと感じた「道の駅」部門～第３位
③トイレがきれいだと感じた「道の駅」部門～第５位
④家族で訪れたい「道の駅」（子どもや高齢者に優しい「道の駅」）部門～第２位
⑤長時間滞在したい「道の駅」部門～第２位
⑥再度訪れたい「道の駅」部門～第４位